

マイナビ電子書籍・VOD比較 ドラマ「グランメゾン東京」の感想調査

 「グランメゾン東京」の感想・評価を調査！



Oさん:★★★★

主人公の尾花が毎回作る料理がおいしそうで、さすがバラエティ番組の「スマップ×スマップ」で料理をしていただけ、尾花を演じていた木村拓哉さんが上手でした。また、見習いの平古役を演じていた玉森裕太さんも料理をするのに頑張っていると思います。

Wさん:★★★★

「グランメゾン東京」を見た感想ですが、料理がとても美味しそうで、見ているだけでお腹が空きました。主演の俳優たちの演技がすごくて、話の展開も引き込まれました。特に、シェフたちが料理に対する情熱を持っているのが伝わってきて、感動しました。私わ、ドラマ全体がリアルで、料理の世界に入り込んだ気分になりました。結論として、料理好きな人やドラマが好きな人におすすめです。

Iさん:★★★★★

その道の才能がある人たちが、その才能に胡坐をかかず、さらにひたすら努力を重ねる作品で、料理がテーマとは思えないくらい熱くなれる作品でした。自分もものづくり系の仕事をしているので、このドラマのことを思い出すたびに「自分もがんばらなければ」と思います。

Mさん:★★★★★

星を取るために必死で試行錯誤していく一流レストランの凄さに圧倒されました。美味しそうな料理がたくさん出てくるので、こんな素敵なレストランに行ってみたい、シェフの想いを感じながら料理を味わってみたいと思いました。主演は木村拓哉さんで、この役は木村さん意外全く想像がつかないハマり役でした。仲間たちの絆がとても熱く感動しました。

Kさん:★★★★★

月9の視聴率男と呼ばれていた木村拓哉が、まさかドラマ内で「おじさん」と呼ばれる日が来るなんて、と衝撃を受けました。

孤高の料理人だった主人公(木村拓哉)が、料理を通じて成長して行くストーリーです。

出てくる料理も美味しそうで作る過程も見応えがありました。

主人公に惹かれついて行く仲間達の姿は、大人気マンガのワンピースに通ずる所がありました。

サブスクでの解禁をずっと待っています。

Aさん:★★★★★

主演の木村拓哉さんをはじめ、鈴木京香さんや玉森裕太さん、及川光博さんなどなど、演技の上手い魅力的な役者さんが多数出演していて物語に入り込めます。

また、お料理も一流のシェフも目の保養になります。

ドラマ版も楽しく観させていただきましたが、映画も公開予定かという事で、映画を見にいっ前にもう一度見直したいと思います。

Qさん:★★

キムタク万歳の代表作。

鈴木京香という微妙な年齢層の起用は、同世代の感情移入を狙ったのかもしれませんが、

木村拓哉と言えば恋愛ドラマという根強いファンからしたら、彼女に恋愛を求めるのは酷。

結局「木村拓哉がシェフのキムタクを演じている」仕上がり。

Yさん:★★★★★

グランメゾン東京を観ることで、自身も料理をできるようにになりたいという気持ちが強くなりました。三つ星レストランを作り上げる姿がとても素晴らしく感じられました。辛いことがあっても何とかして乗り越えていく力が大事だと考えさせられるドラマになっていました。木村拓哉さん演じる尾花の活躍するシーンに見どころがありました。

Sさん:★★★

出演者の暴力なんじゃないかってくらい、すごく華やかな俳優さんが揃っています。主演が木村拓哉さんで次が鈴木京香さんという時点で、すごいと驚きました。ただしストーリー的に、今の木村拓哉さんが演じるよりは、もう少し若い俳優さんが主演でも良いのではと感じました。木村拓哉さんをうまく活用できていない感じがモヤモヤします。

Tさん:★★★★

面白かったと思います。美味しいお料理や、調理をする場面がたくさん出てきます。一度は実際に食べに行ってみたくなるような素敵な料理ばかりで、おしゃれで楽しいドラマだったと思います。木村拓哉さんに似合っていたと思います。

Hさん:★★★★

料理界を舞台にしたドラマで、料理人たちの情熱と成長が描かれています。主人公のシェフがミシュラン三ツ星を目指して奮闘する姿がリアルで感動的です。美しい料理シーンと緻密な演出が食欲をそそり、キャラクターたちの人間ドラマが深く心に残ります。プロフェッショナルな世界と、料理にかける情熱が見どころで、見応えのあるエンターテインメントが楽しめます。

Mさん:★★★★★

キムタクが何の役をやっても格好いい。そして何より、料理が美味しそうで食べたくなった。このドラマを観て《おもてなし》ってもの凄く難しい事なんだなと分かりましたね。友達を家に招いて、食事をご馳走するだけでも大変ですから。

Sさん:★★★★

木村拓哉の連続ドラマで初めて全部みたドラマだった。年代が自分と同じくらいなので、登場人物たちの考え方や気持ちなどに、うなずける部分が多かった。恋愛要素が入っているのか入っていないのか程度で、逆にそれがよかった。木村拓哉演じる尾花と、鈴木京香演じる倫子、二人が主役に思えてくる。

Pさん:★★★★★

料理に向き合う姿勢に凄みを感じ、同じ目標を目指す同志と出会うことでこんなにも強くなれるのかと思えた作品です。時間のすべてを料理にかけるくらいにのめり込む主人公の姿は凄みを感じ、才能があるからと歩みを止めない姿に惹き込まれます。最終回となっても歩むことを止めない選択に続編を望んだ作品です。

Tさん:★★

なんとなく最後まで見た記憶がある。コロナ渦前だったから成立したような内容。今は人が集まるのも会食も以前のように活発ではないから、舞台がレストラン業界というのもいまひとつ盛り上がらない気がする。なんとなく嘘くさい雰囲気になってしまうと思う。ほんの数年前のドラマなのに、今では一緒に食事に行く相手や関係せいが変わったし面子がより近いひとと食事するようになったので、会食そのものにワクワクしないな。

Rさん:★★★★

料理にかける意気込みと熱量に感動したドラマです。メニューが出来上がるまでの「百試千改」のチャレンジと、素材を探すフットワークの軽さと努力を見て、今まで美味しいとかきれいとかしか感じなかった料理の新しい世界を見せてもらいました。チームワークの良さやライバルとの駆け引きも面白かったです。

Sさん:★★★★

天才的なフランス料理のシェフが仲間を集めて東京にレストランをオープンさせるのですが、ライバル店の妨害や有名な料理記者の訪問などでピンチやトラブルに見舞われるのがドキドキしました。出てくる料理がおいしそうなのですが、味わうことはできないので、そこは少し残念でした。

Kさん:★★★★

かなりの腕を持つ料理人達が、ミシュランの星をとるまでのストーリーで、木村拓哉さんと鈴木京香さんが中心になって、ライバル店との戦いも混えて話が進んでいきます。その中でスタッフの挫折や葛藤などもあり、自分も厨房で仕事した経験がありますが、かなり実際の厨房内の状態に似ていて、ハラハラしながらみました。結果は感動しました。